



第20回日整全国少年柔道大会で茨城県  
の準優勝に中堅として貢献した酒井陸  
さん（坂戸小5年）

### 坂戸小5年の酒井さん

#### 全国柔道大会で県準優勝に貢献

体育の日の10月10日、東京・講道館で開催された「第20回日整全国少年柔道大会」で、酒井陸さん（坂戸小学校5年生）が茨城県代表として出場した茨城県チームが、見事、準優勝を果たしました。

この大会は、日本柔道整復師会が主催しているもので、全国から48チームが出場し5人1チームで競われました。

酒井さんは現在、筑西市の柔道スポーツ少年団に所属。身長164センチ・体重84キロと立派な体格を活かし、決勝戦の中堅戦では見事な1本勝ちを決め、チームの準優勝に大きく貢献しました。



県空手道選手権大会中学3年生女子・  
組手の部で念願の優勝を果たした高橋  
悠伽さん

### 岩瀬東中3年の高橋さん

#### 県空手道選手権大会で優勝

永剛会本部道場（平沢地区）に所属する高橋悠伽さん（岩瀬東中学校3年生）が、水戸市の県武道館で開催された「第49回茨城県空手道選手権大会」で、中学3年生女子・組手の部で見事優勝を果たしました。

高橋さんが空手道に入門したのは5歳の時。今までは、県大会での3位入賞が最高位でした。しかし、中学3年生の現在、受験勉強との両立で忙しい中、稽古に励み、念願の初優勝を果たしました。

高橋さんは「高校に進学してからも空手部に入部し、インターハイに出場できるように頑張ります」と、力強く話していました。

### 桜川 Jr. バドミントン少年団が

#### 関東大会で上位入賞

埼玉県幸手市などを会場に開催された「第6回関東小学生バドミントン選手権大会」で、桜川 Jr. バドミントン少年団が念願の上位入賞を果たしました。

5年生以下男子ダブルスの齋藤叶汰・平田輝（いずれも猿田小学校）ペアと5年生以下女子ダブルスの小池由華（猿田小学校）・景山紫帆（羽黒小学校）ペアが、それぞれ第3位で全国大会への切符を手にした。また、上位入賞はできませんでしたが、保坂龍治さんと萩原悠稀さん（いずれも羽黒小学校6年生）が全国大会の男子団体に選抜され、両名の活躍が期待されます。



念願の関東大会を突破し全国大会へ駒を進めた桜川 Jr. バドミントン少年団の皆さん

### 大和剣友会が

#### 桜川市まかべ武術道大会で3連覇

桃山中学校を会場に開催された「第7回桜川市まかべ武術道大会・剣道大会」で、大和剣友会が団体戦小学生の部3連覇。さらに、個人戦小学生・中高学年の部（個人戦）でも、多くの上位入賞者を生み出した。同剣友会は、今夏、日本武道館で開催された全国大会にも出場するなど、剣道の目的である礼を重んじた健康な体づくりのため日頃から練習に励んでいます。

主将の安田さんは、「今回、みんなで力を合わせて3連覇を達成できたことはうれしいです」と、喜びを話していました。



市まかべ武術道大会（剣道の部）の団体の部、個人の部で輝かしい成績をおさめた大和剣友会の皆さん

### 中学校英語弁論大会県大会で

#### 市内の中学生が熱弁

水戸市内のホテルで開催された「高円宮杯第63回全日本中学校英語弁論大会県大会」で、岩瀬穂乃香さん（桜川中学3年生）が第3位、雨谷諒さん（岩瀬東中3年生）が読売新聞社水戸支局長賞を受賞しました。

岩瀬さんは「The Power Of "Pa"（茨城人の自分）」と題して、方言「べ」には皆の心を一つにする温かい力があると紹介し、一方、雨谷さんは「The Power Of Laughter（笑いの力）」と題して、被災地からの転校生に、笑顔を取り戻すための笑いの素晴らしさを、それぞれ身ぶり手ぶりを交えながら5分間のスピーチを披露しました。



全日本中学校英語弁論大会県大会で3位の桜川中の岩瀬穂乃香さん（写真左）と岩瀬東中の雨谷諒さん（写真右）

### 岩瀬造型グループが

#### 創立50周年記念式典

岩瀬造型グループ（細谷豊会長）は、今年で創立50周年を迎えたのを記念して、11月12日、羽黒農村環境改善センターで記念式典を開催しました。

同グループは、昭和37年に絵画や写真だけにこだわらず「かたちあるものを創作する方であれば共に手を携え、文化の発展に寄与したい」と創立。撮影会や展示会などの活動を通じ、現在31名で活動しています。「この栄えある50周年を契機に、更なる会員相互の親睦と融和をめざし、今後100年に向かって続けていければ」と、細谷会長は話していました。



岩瀬造型グループの皆さんは、記念式典で喜びを分かち合いました。

### 岩瀬わくわく連合会から

#### 市教育振興に寄付金

桜川市岩瀬わくわく連合会（萩原廣会長）から、市の教育振興に寄付がありました。これは、10月に岩瀬体育館「ラスカ」で行われた「第28回わくわく連合会発表会」で舞踊やフラダンスなどに参加した会員の方からの募金を、市の子どものための教育の振興のために役立てていただければと寄付されたものです。

同連合会は、高齢者の文化芸術の振興と健康維持を目的に、約150人の会員で踊り・合唱・大正琴などの各分野で活動されています。



作品制作ワークショップの風景（真壁厚生学園）と右下写真は元気なアートコラボラ作品のポストカード

### 「元気なアートコラボ」

#### いばらきデザインセレクション

茨城県陶芸美術館で開催された「いばらきデザインセレクション2011」で、桜川市から応募した「元気なアートコラボ」が、知事選定を受けました。

このセレクションは、県内の優れたデザイン作品や活動などを選定し、県内外にPRすることで茨城県の産業イメージやブランド力を高めるようとする活動で、元気なアートコラボは、知的障害のある方とアーティストの共同作業により、障害者の方の自立や作品作りの意欲を高める取組のことで、その活動から生まれた今回の作品は、審査員から高く評価されました。



わくわく連合会の萩原会長（写真左から3番目）と会員の皆さんから中田市長（写真右から3番目）に寄付金が手渡されました。